

のりものカードをつくって、
年ちょうさんとかるたゲームであそぼう！！
～いろいろなふね～

楽しく論理的読解力を育てるポイント



一部を削除したり，付け加えたりした教材文を利用して読み取りを行う活動を設定する。他の文章や自分の知識と比較・関連付けをしながら，つながりを考え，事柄の順序に気付き，文章の重要な語や文を選び出す力を付ける。

1 単元のデザイン

単元の重点目標<本校で育てたい資質・能力との関連>

- 事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。 [知識・技能(2)ア]
- 乗り物カードの説明に必要な乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」を文章中から考えて短く選び出すことができる。 [思考力，判断力，表現力等C(1)(ウ)] <論理的読解力>
- 乗り物カードを作るために進んで教材文を読んだり，関連図書から必要な情報を集めたりし，思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力，人間性等] <積極性>

教材について

本教材は，四つの船を例として取り上げ，船の「やくめ」「つくり」「できること」について説明した文章である。そして，四つの例の説明は同じ順序で繰り返し書かれており，それぞれの船を比較しながら読むことで叙述に即して内容を読み取り，事柄の順序について理解するのに適している。

また，文章構成は「はじめ(話題提示)」「なか(四つの例)」「おわり(まとめ)」の三つのまとまりで書かれている。「おわり」に書かれている「いろいろな船は，役目に合うように作られています。」という文章から「やくめ」と「つくり」につながりがあることに気付くことができる。この関係を手掛かりに，「なか」の部分に書かれている四つの例の船の「やくめ」「つくり」のつながりを捉えることで，事柄の順序について考え，重要な語を選び出すことが可能である。

教材で学んだことを活かし，生活科の「学校探検の準備をしよう」の単元で教室紹介の説明の文の書き方につなげていくことができる。

児童について

評価テストの観点	単元前 正答率
○文章中の重要な語や文を考えて選び出す。	75%
○情報と情報との関係を読み取っている。	62%
○相違に気付き，理由を捉えている。	47%

本学級の児童は，前期の「どうやってみをまものかな」で内容の大体を捉え，文章中の重要な語を選び出す学習を行ってきた。

評価テストの結果を見ると，情報と情報との関係を意識して語を選んだり，理由を書いたりすることが難しかった。その原因としては，文章中のまとまりごとの内容の大体を読み取ることはできても，他のまとまりと比較しながら理解を深めることができていなかったと考えられる。また，それぞれの相違点を見つけた上で，理由を考える力はまだ弱い。相違を見つけ，なぜそうなるのか考えるためには，まず，読解をする時，まとまりの大体を読み取り，必要な情報を正確に読み取っていく力と，その情報と情報の関係を考えていく力を付けていく必要がある。

指導について

教材文の一部を削除したり，間違えた文を加えたりすることで，重要な語や文に着目させ，比較・関連付けを行えるようにする。また，教材文で四つの乗り物の読み取りを行う際，「やくめ」と「つくり」のまとまりを並びかえさせて事柄の順序を意識させたり，「やくめ」に合った「つくり」を選ばせたりする学習を行うことで，「やくめ」と「つくり」のつながりを手掛かりに段階的に事柄の順序に気付くことができるようにする。また，読み取りを行う際には，「やくめ」「つくり」「できること」ごとに色分けしたカードや付箋紙に書くことで三つの観点を意識させ，接続詞「だから」を入れ，まとまりとまとまりをつなげることで「やくめ」と「つくり」のつながりを意識させるようにする。

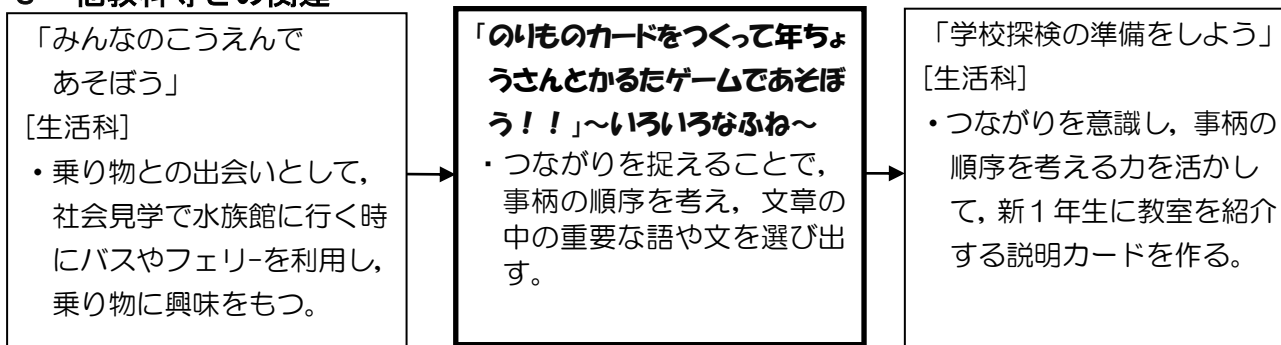
単元のゴールに年長児とゲームをするための乗り物カードを作る活動を設定する。小さなカードに「やくめ」「つくり」「できること」を書くため、重要な語を短く選び出す必然性を持たせる。

授業の中で、対話を取り入れ、理由を述べながら考えたことを伝えていく活動を行うことで、考えを深めていけるようにする。また、友達との対話で、自分と違う考えを持った友達の意見を聞くことで、新しい考えに気付いたり、考えを広げたりできるようにする。

2 単元の重点目標に対する評価規準

知識・技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学びに向かう態度
事柄の順序などの情報と情報との関係について理解している。	乗り物カードの説明に必要な乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」を文章中から考えて短く選び出している。	乗り物カードを作るために進んで教材文を読んだり、関連図書から必要な情報を集めたりし、思いや考えを伝え合おうとしている。

3 他教科等との関連



4 指導計画 (全 15 時間)

次	学習活動(時)	評価			指導の留意事項
		知	思	主	
○ 出会い	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学を振り返り、いろいろな乗り物があることに気付き、興味をもつ。 教室にある乗り物についての本を読み、いろいろな乗り物に興味をもつ。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 社会見学に行った時の写真やビデオを見ることで、振り返りやすくする。
一 見通し	<p>課題の発見 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年長児との交流会で乗り物カードゲームをするために乗り物カードを作る学習計画を立てる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の交流会を思い出し、一緒に遊ぶかるたのカードを作るという活動を設定し、相手意識と目的意識を明確にさせる。学ぶ必然性を感じ、主体的に学習計画を立て、意欲的に取り組むことができるようにさせる。
内容の把握 二 構造と	<p>課題の追究① (6)</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろなふねの「はじめ」と「おわり」を読み取る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> それぞれの船は、「やくめ」にあった「つくり」になっていることに気付かせる。

<p>○教材文を読み取る。 ・「きやくせん」の「やくめ」「つくり」「できること」を読み取り、乗り物カードにまとめる。</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・観点ごとに色を変えたカードに書くことで、観点を意識しやすくする。 ・それぞれの文が「やくめ」「つくり」「できること」であることに気付かせる。 ・重要な語を短く選び、カードに書かせる。 	
<p>・「フェリーボート」の「やくめ」「つくり」「できること」を読み取り、乗り物カードにまとめる。(2)</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「きやくせん」と「フェリーボート」を比べながら読み取らせることで、同じところ[共通](文末表現「～のためのふねです。」「～があります。」、説明の観点と順序、人を運ぶ役目)と違うところ[相違](つくり)に気付かせる。 ・「つくり」が違うのは、「やくめ」が違うためということに気付かせる。 ・重要な語を短く選び、カードに書かせる。 	
<p>・「ぎょせん」の「やくめ」「つくり」「できること」を読み取り、乗り物カードにまとめる。</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「つくり」の文が書かれていない教材文を読み、「きやくせん」「フェリーボート」と比較しながら、「つくり」の文が書かれていないことに気付かせるとともに、「やくめ」から適切な「つくり」を考え、二つのつくりから選ばせる。 ・重要な語を短く選び、カードに書かせる。 	
<p>・「しょうぼうてい」の「やくめ」「つくり」「できること」を読み取り、乗り物カードにまとめる。 (本時7/15)</p>	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「しょうぼうてい」の「つくり」ではない文が書き加えられている文章を読み、なぜ間違いなのか考え、「やくめ」にあった適切な「つくり」を考えさせる。 ・重要な語を短く選び、カードに書かせる。 	
<p>学びの深化① (1) ・教材文の四つの船のカードを交流する。</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した四つの船を比べることで、事柄の順序について理解を深めさせる。 ・友達とカードの交流を行うことで、良いところや改善できるところを伝え合わせ、自分の好きな乗り物カード作りに活かせるようにさせる。 	
<p>課題の追究② (3) ・観光バスについての乗り物カードを作る。</p>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足で利用した観光バスのことを振り返らせるとともに、観光バスの資料を提示し、乗り物カードを作成させる。
<p>・資料「のりものブック」の中から自分の好きな乗り物を選んで乗り物カードを作る。(2)</p>		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から「やくめ」「つくり」「できること」の三つの観点で大事な語や文を選び出し、カードにまとめさせる。 ・カードの色に対応した付箋紙にメモをしながら資料を読み取り、三つの観点のつながりを意識しながらカードにまとめさせる。

<p>学びの深化② (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達と乗り物カードの紹介を行い、感想を伝え合う。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者は、「やくめ」「つくり」を選んだ理由を伝えさせ、聞く側は、「やくめ」と「つながり」が適切か確認したり、良いところを見つけたりさせる。 ・「やくめ」と「つくり」を選んだ理由を聞き、それぞれの経験や思考でどこに着目するか一人一人に違いが出ることに気付かせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・友達との交流で気付いたことを、修正したり、付け加えたりする。 	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアドバイスを活かし、修正や付け加えを行い、カードの言葉を完成させる。
<p>まとめ・振り返り (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルとして、2組と年長児を迎えるために乗り物ゲームを行う。 ・単元のまとめと振り返りを行う。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・リハーサルとしてゲームを行うことで、かるたゲームの説明についてのアドバイスをお互いに行い、改善できるところを見つけたり、考えを深めたりさせる。 ・学習を通して、分かったこと、できるようになったこと、これからがんばりたいことをまとめさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・交流会で年長児とかるたゲームを行う。 ・乗り物カードの書き方を利用して、紹介したいものがないか考える。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・かるたゲームの読み札を読む時、カードの作成で学習した重要な語や「やくめ」「つくり」「できること」のつながりを強調して伝えることができるように工夫させる。 ・入学して間もなく、2年生から特別教室の紹介をしてもらったことを思い出し、「やくめ」「つくり」「できること」の観点を使って自分たちも教室の説明ができそうだと気づき、次の課題を考えられるようにする。

5 本時の展開

(1) 本時の目標

「つくり」に関する複数の文章を比較することを通して、重要な語や文に着目し、消防艇の「やくめ」にあった「つくり」を正しく読み取ることができる。

(2) 本時の学習展開 (7/15)

展開 (形態)	主な学習活動と予想される児童の思考	教師の働きかけ ◎評価規準(方法)◇配慮を要する児童への手立て
つかむ (全体)	<p>○消防艇の写真を見て、今までの船と比べ大きく違うところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の色が赤いね。 ・水が出ているよ。 ・勢いよく水が出ているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した船と比較しながら、消防艇の設備に目を向けさせ、興味をもたせる。
考えを出し合い、吟味する (個→全体)	<p>○教材文を提示し、教師の着語読みを聞き、「やくめ」と「できること」を確認する。</p> <p>○乗り物カードの「やくめ」を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防艇の「つくり」がないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで学習した文末表現にも着目しながら「やくめ」と「できること」を確認させる。
	<p>「やくめ」にぴったりあう「つくり」をみつけて、みじかくカードにまとめよう。</p> <p>○提示された「つくり」が消防艇の「つくり」にぴったりではない理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤは車のつくりだよ。ふねのつくりではないよ。 ・あみや魚を見付ける機械は魚を取るためのものだよ。漁船のつくりだったよ。 ・消防艇の「やくめ」にぴったりにするために、火を消すための「つくり」がいるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つくり」のまとまりが車や漁船の「つくり」になっている文章①②を提示することで、「やくめ」と「できること」を意識して「つくり」を選ぶことができるようにさせる。 ・消防艇の「つくり」としては適切ではない複数の短冊①②を提示する。短冊がなぜ適切ではないのか理由を考えさせる。 ・なぜ違うのか考えさせることで、何に着目して「つくり」を選んだらよいか考えることができるようにさせる。
	<p>○「やくめ」に合う「つくり」は何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火を消すために放水銃があったよ。 ・ポンプやカメラもあるよ。 ・消防車には、ホースもあるから消防艇もホースがあると思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防艇の文章や映像・写真を見て、火事を消すための適切な「つくり」を考えさせる。 ・「やくめ」と「つくり」の間に接続詞<u>だから</u>を入れて考えることで、つながりを意識しながら消防艇の「つくり」を考えさせる。
	<p>○教科書の「つくり」を提示し確認する。</p> <p>○乗り物のカードの「つくり」, 「できること」を記入する。</p>	<p>◇「消防艇は船の火事を消すための船です。」だから～と文を続けて発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つくり」の文に書かれていることを写真と関連付けながら理解を深め、正しく読み取ることができるようにする。 <p>◎「やくめ」に合った「つくり」を正しく読み取り、乗り物カードに重要な語や文を短く選び出している。(乗り物カード)</p> <p>◇必要な語だけを書き込めるようにした穴埋めの乗り物カードを用意する。</p>

○乗り物カードを発表する。

・発表を聞き、「やくめ」と「つくり」が適切か確認させる。

◎おおむね満足できる児童の姿

やくめ ふねの火じをけす
 つくり ポンプやホースをつんでいる
 できること 水やくすりをかけて火をけすこと

(3) 板書計画

のりものカードをつくって、年ちようさんとかるたゲームであそぼう！

いろいろなふね

めあて

「やくめ」にぴったりあった「つくり」をみつけて、みじかくまとめよう。

しようぼうていは、ふねの火じをけすためのふねです。

だから

このふねは、
 ・ほうすいじゆう
 ・ポンプ
 ・カメラ
 ・サイレン
 ・ランプ
 があります。
 をつんでいます。

① このふねには、タイヤがあります。

くるまのつくり

② このふねは、さかなのむれをみつけるさかいや あみをつんでいます。

ぎよせんをつくり

・つながらない。
 ・火をけすものでない
 といけない。

火じがあると、水やくすりをかけて、火をけします。

このふねは、ポンプやホースをつんでいます。

やくめ
 ふねの火じをけす

つくり
 ポンプ・ホースをつんでいる

できること
 水やくすりをかけて火をけすこと